

KSKS

ばなの木

Vol.61

もうすぐ



10連休が



女台まりさすね

編集人: 社会福祉法人「ばなな」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなな (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27/banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

「法人近況報告」

読者のみなさまにおかれましては、いつも、いつも、社会福祉法人ばななを陰に陽にと、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、VOL. 54 (2017 年 7 月 27 日発行)でお伝えしてから、読者のみなさまからも、気にかけていただいております、新施設の「サニー・ばなな」建設も、昨年 11 月に起工式を執り行い、順調に建設も進み、6 月中旬の建物引き渡しを迎えるまでとなりました。いよいよ、建物完成のクライマックスが近づいてまいりました。(当法人のホームページで建築状況をご覧になることができます。)

ここに至るまで、読者のみなさまをはじめ、ご家族の方々や関係者のみなさまには、ご寄附をはじめ、絶大なるご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。この場をお借りいたしまして、法人役職員一同、改めて、厚く、御礼を申し上げます。「本当にありがとうございました。」

施設が完成していく姿を眼前に見ていくにつれ、ここまで、法人が成長してきたのも、ひとえに、ご家族、先輩職員、関係者、そして、何よりも利用者自身の思いが結実した賜物であると強く思います。便利で快適な建物が完成しても、運用、活用するのは、「人」です。建物という、ハード面は完成しますが、建物を運用するソフト面の職員の成長はまだまだ、伸びしろもたくさんです。

古風な考えですが、無認可小規模作業所時代は、建物はすきま風が入ってくる倉庫を改造した作業所でとても、貧相でしたが、常に笑いがあり、毎日、毎日が楽しく、温かい雰囲気にも包まれていました。当時のご家族や先輩職員も「制度がないなら、私が制度の代わりなる！」というぐらい、情熱を注いで、制度を構築してきました。

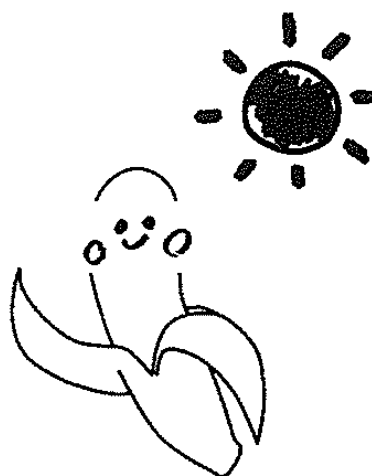
サニー・ばななが完成したあかつきには、この草創期の原点を今一度、法人職員全員で確認し、日々の実践を通して、さらなる、利用者支援の向上に励んでいくことをお約束する次第です。通って来られる利用者・ご家族・地域の方々、お一人お一人の笑顔と安心を作り出していくことが、読者のみなさまをはじめ、ご協力をいただいた方々に、法人としての最高のお返しであるということを感じ、これからも、地域になくしてはならない、社会福祉法人を目指してまいります。

社会福祉法人 ばなな
統括主任 山口 和博

【ばなの発】

活動報告


- 【1月】 4日：初詣・カレンダー作り(S S)
8日：書初め大会(M B)
18日：カラオケ大会(M B)
25日：つつじ仕事展(S S)
31日：職場体験受け入れ 深井中央中学校(M B 3名 S S 1名)
- 【2月】 1日：職場体験受け入れ 深井中央中学校(M B 3名 S S 1名)
1日：節分 豆まき(M B)
4日：節分 恵方巻き(S S)
8日：深井小学校卒業音楽会(S S)
8、11日：ストックホルム展(M B、S S)
26日：防災勉強会
- 【3月】 3日：サンスクエアフェスティバル
27日：理事会
28日：利用者表彰式(S S)
29日：花見 岸和田城(M B)



研修報告

- 【1月】 25日：法人全体研修「対人援助としての基本」(14名)
- 【2月】 13日：介護記録の書き方(1名)
15日：平成30年度 実践交流会(11名)
22日：ほんまにええのその対応(2名)
26日：金銭管理研修(2名)
27日：法人全体研修「発達障害について」(13名)
- 【3月】 1日：「自立生活支援」について考える(1名)
4日：「3秒で心をつかむ」キャッチコピーの作り方(1名)
6日：性について考える(1名)
23日：「住み慣れた場所で自分らしく生きて行く」(1名)
27日：法人全体研修「防災・減災について」(17名)

【性について考えてみよう】

研修は、まず最初に、自分がどのような性教育を受けてきたかについて、グループに分かれた参加者同士で、話し合うことから始まった。良く覚えていない方も多くおられたが、意見を集約すると、男女同時に同じ内容の授業を受けていることは非常に稀で、その内容も、保健体育の中で学ぶ程度のものであることが多かった。障がい者においても同様であると考えられ、ともすると、障がい者に性教育をすると自制がきかなくなるのではという意見も聞かれるとのことであった。実際に、障がい者に性教育を行っている講師によると、正しい知識を学ぶ機会が無かった事が、人前でも性的な行動をしてしまうなど、本人にとっても、本人の周囲にとっても決して快適な環境であるとは言えない状況を作りだしてしまっているとのことであった。激しい性行動を取りがちな人は、その背景に何か問題を抱えていることが多いので、その背景を探ることが重要であるとの事であった。また、性について学ぶことは、人間の成り立ち（受精、胎児、出産）、多様な性、人間の成長、男・女、恋愛、性交、結婚、妊娠、避妊、性被害・加害、デート、自分の障がいについて知るなど広範囲にわたる、人権に関わる大切な学習であり、学ぶことで自分を大切にす、自分を守るための知識を得られるということであった。このように、正しい性知識を学ぶことは、自らの将来像を描く上での一助となり、生活をより豊かにしていくための知恵となるんだと感じた。

【法人全体研修・対人援助としての基本】



今回の研修は対人援助の基本ということで、自信をコントロールする術を身につける事で組織に良い影響を与え、また支援に活かすことが出来る基本的な技術を学んだ。まず、感情には一次と二次感情があり、一次感情を上手く表現できない事が二次感情（怒り）につながるという説明を受け、支援の上で思い当たる事がいくつもあり、仕組みを理解することで、利用者への理解につながる期待感が持てた。組織の仕組みとして、チームとグループという言葉の意味の違いを知り、集団が同じ目的を持っている事の重要性、組織図の階層によっての役割を改めて知ることで、自身の役割を意識する事ができた。また、階層の違いによって起こる、業務上の齟齬については組織の混乱につながるという事と、対応方法について知ることが出来た。次に、具体的なコミュニケーション技術を学び、話し方の原則から傾聴スキルなど初めて知る内容が多くあり、知ってみると円滑な関係作りには欠かせないものであると、実践を交えながら理解することが出来た。中でも外的コントロールは支援の上で、やってしまいがちなものであるので、特に気をつけて利用者だけでなく、職員同士での良い関係形成に活かしたいと思った。最後に今回の研修で最も印象的だったのが、共感と自他の区別の内容であり、感情労働ともいえる業務の上で、相手の感情に巻き込まれずに、支援者として寄り添えることが本当の優しさであり、目指すべきものであると強く思った。プラスとマイナスのストロークの法則を知り、組織の中で出来るだけプラスストロークを行い、周囲に良い影響を与える事が出来る支援者でありたいと、新たな意識を持つことが出来た。

モンキーばなな

新しく変わります

今年度は「平成」から「令和」に変わるように、西友楽市スーパーを拠点として、過ごしてきたみんなは7月から「モンキーばなな」と「サニー・ばなな」の2つの場所で過ごすことになる変化の年になります。
次回には、新しいサニー・ばななの様子をお伝えします！

ストックホルム展で芸術鑑賞

今年も、みんなでストックホルム展に行ってきました。色々な作品を見て、いつか作品を展示できたらいいなと思いました。会場であったイオンモール堺鉄砲町のフードコートで食事を取り、パッセの店舗で面白い物をしました！



高速に乗って、ちょっと岸和田まで

3月29日に、岸和田城まで花見に行きました。道中にある桜の通り抜けスポットは、まだ蕾が多かったのですが、当日は天気もよく絶好の花見日和でした。咲いている桜の写真を撮ったり、お城の堀の周りを散歩したり、岸和田のサービスエリアで昼食・お土産を買う時間を楽しみました。

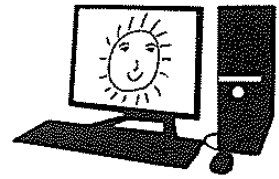
第2回 さくら祭り

4月6日に、堺市南区で行われた、さくら祭りに行きました。当日は、満開の桜の中、地域の方々で大変賑わっており、歌や手品などのステージを見て、甘味処で三色団子や、パンケーキ、アメリカンドックなどを美味しくいただきました。初めてのお祭りでしたが、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。

地域でも大盛況の、素敵なイベントにご招待いただき、本当にありがとうございます。



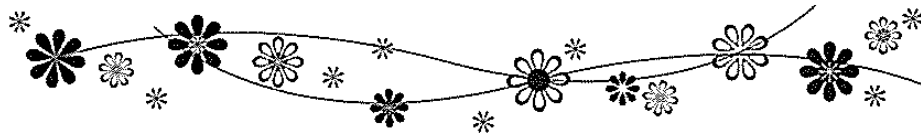
サニー・サイト



☆ホームページの更新について

長らく更新がストップしていた、当法人ホームページのサニー・サイトのページですが、今年度より定期的に更新を開始しました！
毎月、深井清水町内のポスティングで配布しているサニー・サイト新聞や、利用者の方が中心となって作成する、ブログ形式の記事を更新していきます。ぜひ一度ご覧になって下さい！

☆社会福祉法人ばなのホームページの
QRコードはこちら →



◆深井中央中学校からの職場体験

毎年の恒例になっている、深井中央中学校からの職場体験に今年も来て頂きました。体験に来て頂いた学生の方に、お手紙を頂いたので、一部を抜粋し掲載させて頂きます。

「初日はとても緊張していたけれど、皆様が優しく声をかけてくれて、本当に嬉しかったです。初めてで大変な事もありましたが、皆で協力して作業する事が、とても素晴らしいと思います。本当にありがとうございました。」

このように、大変うれしい内容のお手紙となっており、私たちにとっても、得がたい経験をさせて頂いております。

◆防災についての話し合い



昨年から定期的に行っている、防災についての話し合いに、先日、ボランティアの方も一緒に参加して下さいました。その後3月に、和歌山を震源地とした、震度4の地震がありました。日頃から話し合っている成果か、防災速報の警報アラームの大きな音に驚き、不安になりながらも、皆が慌てることなく、まず頭を守るなど、冷静に行動できていました。今後も地域の方々とも、助け合える防災について話し合っていきます！

らふたあ

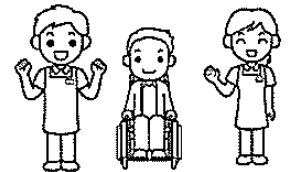
初めての経験

数年来のお付き合いの利用者の方と、先日、堺市内のとあるラーメン店で昼食を摂りました。普段、その方の外食はファミリーレストランが多いのですが、そのラーメン店は職人が作るカウンターキッチンのお店でした。最初は食券を購入するにも緊張の面持ちで、「こういうお店は初めてです。」と戸惑っている様子でした。

目の前で調理されるラーメンをまじまじと眺められ、よほど美味しかったのか、ものすごい早さでラーメンを召し上がりました。彼自身、新しい体験に対しては慎重なタイプですが、今回は人生に新しい楽しみを持って頂けたようでした。

映画を観て感じた事

今年の1月に大泉洋さん主演の「こんな夜更けにばななかよ！」を鑑賞しました。筋ジストロフィーの鹿野靖明さんの実話を基にした映画です。時代的に昭和後期のお話で福祉制度もほとんど整っていない環境で多くのボランティアを集め、生活をし、様々な困難にぶち当たってもそれを乗り越えていく内容でした。障害を持っていても、もっと外に出て自由に生きていいんだ！鹿野さんの生き様に強く感銘を受けました。私が担当する独居の利用者の方（特に50歳以上の方）も鹿野さんと同じ心の強さを感じます。障害を持っていても、地域に住み続けるための支援を、利用者の方に提供できるよう我々は努めてまいります。



サポートセンター はなのこみち

そば打ち体験に行ってきました！

3月4日（月）、深井清水会館で開催された、そば打ち体験にグループホームの利用者の方々と参加しました。なかなか経験できない事もあるって、みなさん興味津々でそばを打っていました。完成後は、美味しくいただき大満足でした。今後も、地域の方々と楽しい時間を過ごしたいです。ご馳走様でした！



地域のみなさんとともに

ご協力いただいた皆さま！ありがとうございました

300円セット	344個	(103,200円)
500円セット	457個	(228,500円)
売上げ金額合計		(331,700円)

今回販売した商品に、納品前のチェックが足りず、ご迷惑をおかけしたお客様に深くお詫び申し上げます。今後、二度とこのような事が起きないように、再発防止に努めます。また、ご不明な点がありましたら、お問い合わせ下さいませよう、お願い申し上げます。

40セットのクッキーをご購入いただきました！

ボランティアの方々へ1年間のお礼の贈り物として、クッキーの詰め合わせを40セットご購入いただいたお客様がいらっしゃいました。お客様は以前から、サニー・サイトのクッキーを美味しいと知ってくれており、この機会に選んでくれたという事でした。そのような経緯で地域の方に、私たちが作ったクッキーで、人と人とのつながりの輪を広げて頂けました。本当にありがとうございました！



編集後記

いよいよ7月から「サニー・ばなな」が始まります。建設にあたって、事前に昨年の5月23日と7月25日に地域住民説明会を開催させて頂きました。ご来場頂いた方々を含め、沢山の深井清水町の方々にご理解を頂きましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

まもなく「令和」の時代も始まりますが、私たちは、こらからも地域に根ざし、地域の方々とともに成長していく事を、変わらずに目指して行きますので、よろしく願いいたします。

編集委員一同

発行人 関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
 二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価 100円